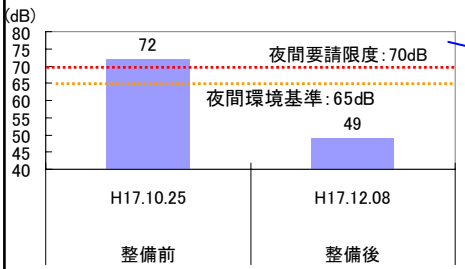


効果の検証⑥：金曲集落沿道の騒音状況の変化

旧道沿線住宅への騒音問題が大幅に改善されました

金曲集落の騒音は、バイパス整備前は要請限度を超過（72dB）しており、沿道住民の皆様には、非常にご迷惑をおかけしている状況が続いていました。金曲バイパスの整備により大型車がバイパスへ転換したため、夜間騒音は環境基準を大きく下回る水準（49dB）となり、沿道の皆様から好評を得ています。

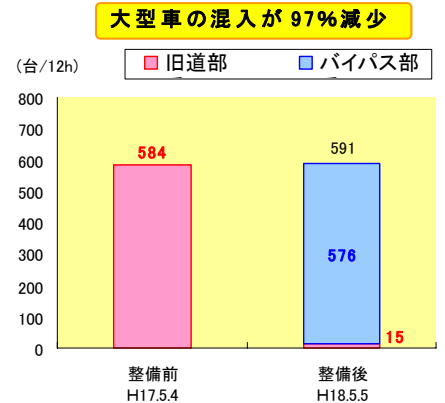
〈バイパス開通前後の夜間の騒音の変化〉



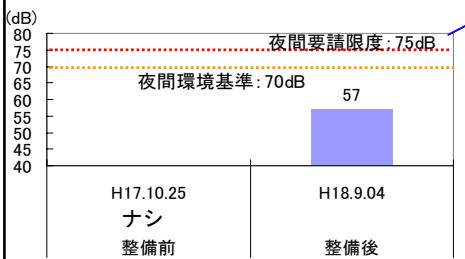
▲旧道部での夜間騒音のレベル



▼バイパス整備後の旧道部



▲大型車混入率の変化



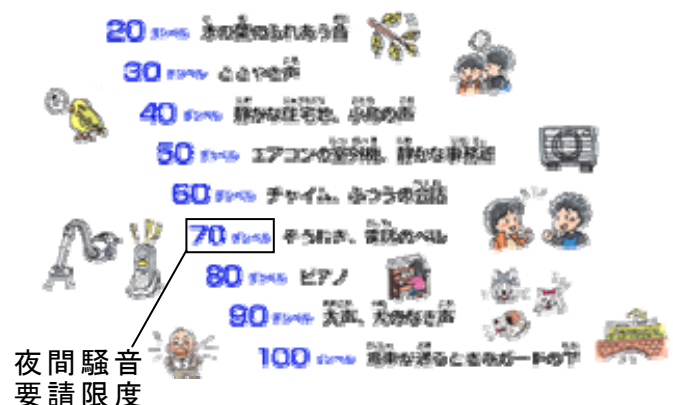
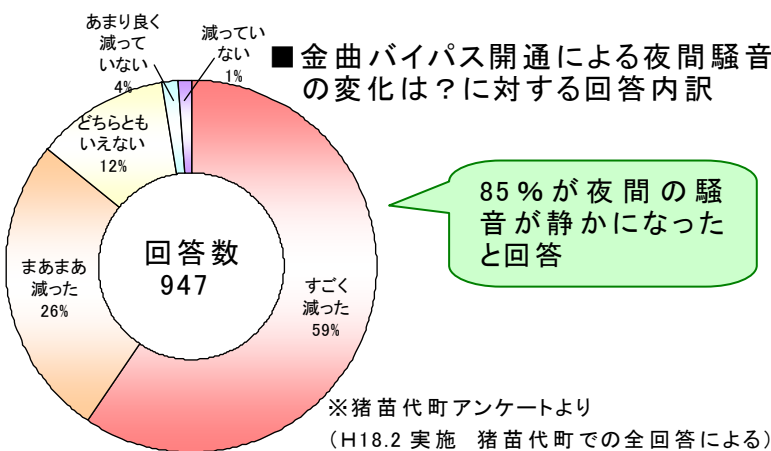
▲バイパス部での夜間騒音のレベル



バイパスの開通により、旧道部に流入する大型車の97%がバイパス部へ転換。夜間騒音レベルも72dBから49dBと減少し、静かな音環境を取り戻しました。

〈利用者の評価〉

■金曲バイパス開通による夜間騒音の変化は？に対する回答内訳



代表的な回答

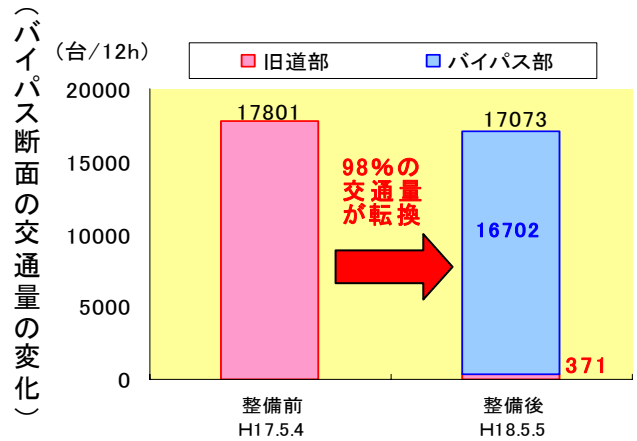
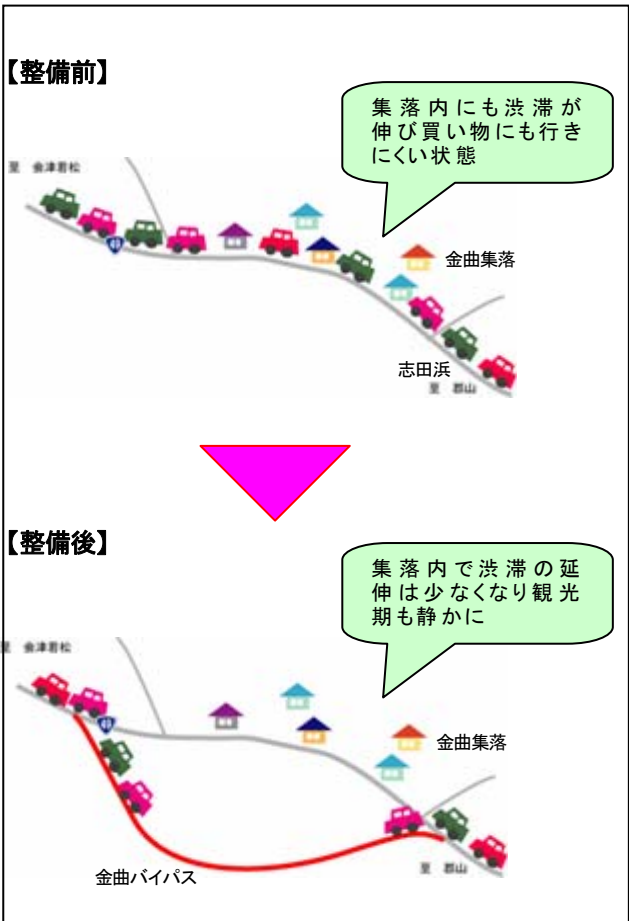
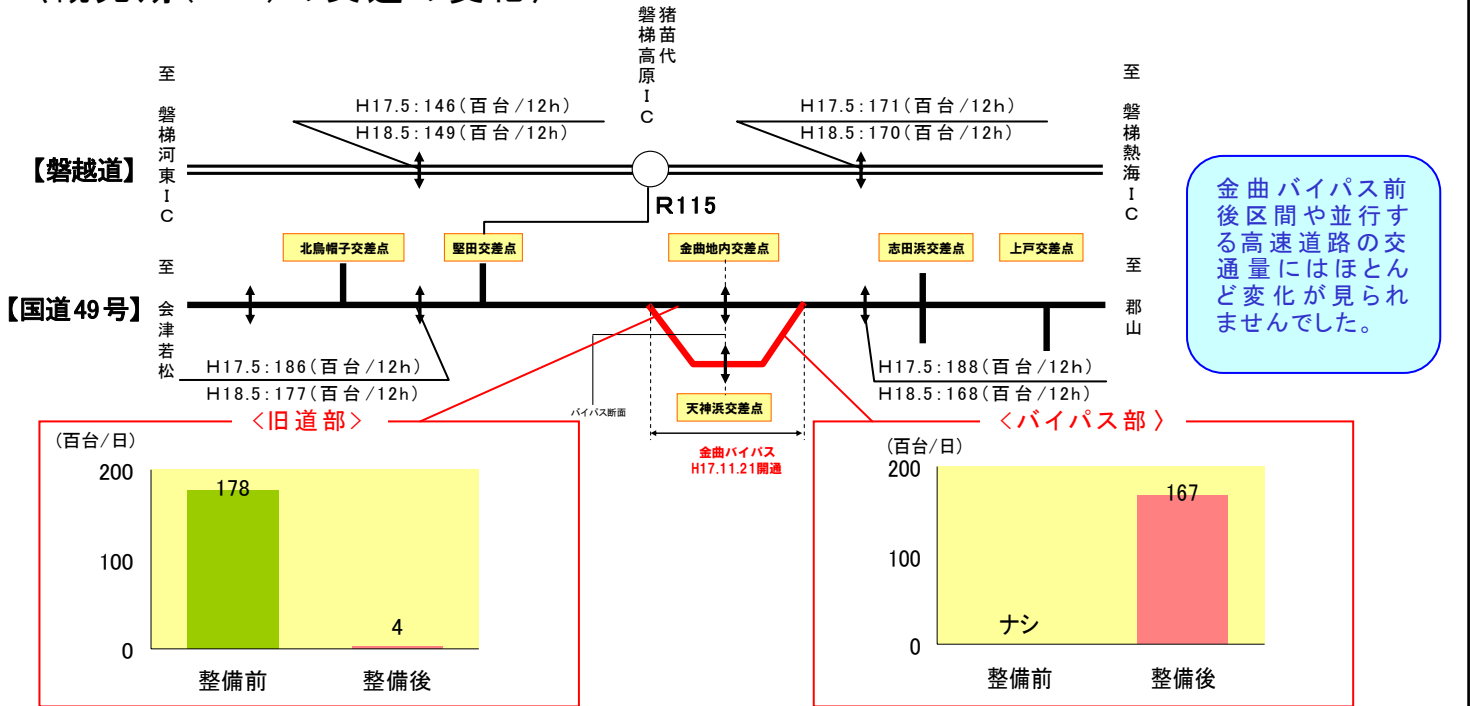
- ・集落内での交通量が減った事で昼夜間の騒音がなくなりました。(猪苗代町民)
- ・騒音がなくなり、ストレスがたまらなくなりました。(猪苗代町民)
- ・昼夜を通して騒音に悩まされていたが、バイパスの完成により強いストレスから開放されました。(猪苗代町民)

効果の検証⑦：周辺部を含めた交通量の変化（観光期）

旧道（金曲集落内）の交通量が大幅に減少しました

開通直後の段階で、旧道からバイパス部への大幅な交通量の転換が確認されていましたが、年間を通して最も交通量の増える観光期においても、同様の効果が確認されました。

〈観光期（G.W）の交通の変化〉



▲整備前（旧道部）



▲整備後（バイパス部）

上図に示す交通量は
 整備前: H17.5.4 整備後: H18.5.5 の実態調査にもとづいています